

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

12月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2022.2.20 No.96

特集

手話通訳派遣協会
×
市議会



MENU

- 特集……………P 2
- 出前講座・議会報告会を
開催しました……………P 4
- こんなことを審査・調査しました…P 6
- こんなことを聞きました……P10
- Future……………P20

手話マーク



特集

手話通訳
派遣協会

× 市議会



聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)
出典：警察庁ウェブサイト(<https://www.npa.go.jp/koutsuu/menkyo20/tyoukaku.htm>)を加工して作成。



議員は遠い存在。 もっと身近になってほしい。

「声の役割」をする、それが手話通訳です。



栃木県北地区手話通訳派遣協会とは

聴覚障害者(児)に対して手話通訳等のコミュニケーション支援や相談支援に関する事業を行っている組織。手話普及事業として企業や教育機関からの依頼により講習も行っている。会員数15名、そのうち那須塩原市は12名。

<手話を始めたきっかけは？>

◆大学の友人に聴覚障害者がおり、普段のやりとりを行っているうちに手話を覚え、手話に魅了されました。

◆手話に関するテレビ番組を見て手話に興味を持ち、市内の手話サークル主催の手話教室に参加していました。

◆市の手話サークルに入ったことです。そこで色々な人と出会い、手話に惹かれました。

<活動で心掛けていることは？>

◆聴覚障害者に寄り添った対応や、状況に応じてわかりやすく伝えられるように心掛けています。

◆聴覚障害者の想いを捉えること、私の手話を見た人にわかりやすく伝えられているかということに気をつけています。

◆伝えたいことを適切な表現で伝えられているか何度も確認をしています。

<活動をしていて嬉しかったことは？>

◆聴覚障害者にとってここが必要な場所と思ってもらえたり、気持ちを分かち合ったりすることが嬉しいです。

◆聴覚障害者を通じて手話を学べるので、手話通訳のスキルアップにつながることに嬉しいです。

◆不安な面持ちで訪ねてきた聴覚障害者がここを利用したことで安心し、笑顔で帰っていただけた時はとても嬉しかったです。

<今後の活動で大切にしたいことは？>

◆合理的配慮の在り方を考えていきたいです。

◆体験した事を通訳者同士で共有し、必要に応じた支援ができるように心掛けたいです。

◆認知症の難聴者や中途失聴者、ろう者が増えてくることが予想されるため、今後はその方々への支援が必要と感じています。

<本市で制定された手話条例について期待する事はありますか？>

◆条例を一つのきっかけとして、広く市民の方々に知っていただくことが重要です。

◆市民に手話が身近になり、生活に浸透してほしいです。

◆条例制定だけの一方通行に終わってはいけないと思います。

<今後の展望は？>

◆難聴者、中途失聴者、ろう者やその関係者に認知され、手話通訳を必要とする方々に利用していただけるように活動をしていきたいです。

<市議会議員に期待する事は？>

◆困っている人の声を大切にして活動してほしいです。

◆ダイバーシティ(多様性)を大切にし、少数派(マイノリティ)にも目を向ける気持ちを大切にしてほしいです。

◆さまざまな人がいることを意識したまちづくりをしてほしいです。

◆市民をひとくりにせず、一人一人の生活様式の違いを理解してほしいです。

中学校出前講座 2021

那須塩原市議会が主権者教育の一環として、昨年度から市内中学校を対象に出前講座を実施しています。今年度は三島中学校、西那須野中学校、東那須野中学校、黒磯中学校から開催の希望があり、議員が講師として市議会の仕組みの説明、〇×クイズ、議員への質問の3部構成で講義を行いました。



三島中学校での様子

2 〇×クイズ

市議会の仕組みについて説明を聞いた後、〇×クイズに挑戦してもらいました。近くのクラスメートと相談しながら答えている様子もありました。参加生徒の皆さんは説明をよく聞いていたので、全体の正解率はとても高かったです。



西那須野中学校での様子

参加生徒に感想を聞きました

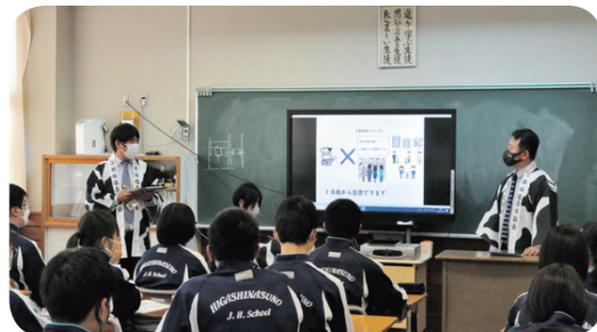
- ◆市議会議員のイメージが変わりました。講座に参加する前は堅苦しいイメージを持っていましたが、朗らかで明るい人が多いと感じました。
- ◆議会にあまり興味がありませんでしたが、市議会の仕組みをわかりやすく教えてくれたので議会を身近に感じました。
- ◆将来、自分の意思を持って選挙に行きたいと思いました。
- ◆授業では聞けないようなお話が聞けて良かったです。
- ◆講座に参加してみて、若者向けに議会のことをもっと発信していく機会があれば良いと思いました。

1 市議会の仕組みについて説明

市議会の仕組みについて、パワーポイントでイラストや図を用いながら説明をしました。

参加生徒の皆さんは必要に応じてメモを取ったり、相槌を打ったりと真剣に議員の説明に耳を傾けていました。

講座後のアンケートでは「説明がわかりやすかった」との回答が多く寄せられました。



東那須野中学校での様子

3 議員への質問

参加生徒からの質問に議員が答えました。市議会議員の給与や、議員になろうと思ったきっかけなど、議会や議員についての質問のほか、恋愛についてや議員同士の交友関係などの質問で盛り上がっていました。

講座後のアンケートでは「一番楽しいコーナーだった」との回答が多く、好評でした。



感想を教えてくれた黒磯中学校の生徒さん

議会報告会を開催しました

市民に開かれた議会を目指すため、毎年議会報告会及び意見交換会を実施しています。今回の議会報告会は2部制で、第1部は議会報告とし、YouTubeで定例会議の報告動画を配信しました。

第2部は意見交換会として、オンラインで開催しました。それぞれテーマを設定し、関係団体や高校生など幅広い年齢層の皆さんと意見交換を行いました。

皆さんからいただいた意見の一部を紹介します。



テーマ：那須塩原駅周辺のまちづくり



- ・駐車場ばかりであるが、山が見えてきれいな眺めなので、駐車場だけではもったいない。
- ・時間を潰せる場所がない。(大学生)
- ・飲食店が少ない。観光客が入りたいと思う店がない。
- ・店舗を建てると税制面で優遇されるなどの制度があると良いのではないかな。
- ・西口の区画整理のビジョン、緑を活かした街並みは有効。
- ・人が歩きたくなる街並みづくりが必要。
- ・観光客や地元の人が交流できる場所がほしい。

テーマ：学校教育のあり方 / 貧困支援

■学校教育のあり方

- ・プールは維持管理費が高く、廃止したほうが良い。
- ・タブレット配布はすごいと思う。那須塩原市は教育支援が手厚い行政。
- ・教室が不足している学校もあり、地域間のバランスが取れていない。
- ・先生の仕事範囲が広すぎて細部に目が届かないので、DX等を活用した働き方改革が必要。

■貧困支援について

- ・貧困が表面化しづらい。
- ・負の連鎖から脱却できない。
- ・学校単位で子ども食堂や学習支援などの施設が設置されることが理想である。



意見交換会PR用CM作成の様子

テーマ：空き家の有効活用 / 農業の担い手育成のために

■空き家の有効活用

- ・那須塩原市の空き家率は全国の1.5倍。
- ・市で一括管理するシステムをつくり空き家を賃貸にし、収入を得る。
- ・空き家バンクがあるが登録数が少ない。賃貸物件が増えると良い。

■農業の担い手育成のために

- ・農業は一人では出来ない。機械を融通してくれたり、相談に乗ってくれる農業仲間が大変ありがたい。
- ・農業のイメージは、重労働。農地の確保は非常にハードルが高い。
- ・酪農のICTやIoTの取り組み、スマート農業 農業格差の改善。
- ・新規就農支援のネットワークが悪い。制度の緩和が必要。



こんなことを審査・調査しました

※ ◎は委員長、○は副委員長

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など
 【委員】◎山形紀弘○中里康寛、鈴木秀信、星宏子、相馬剛、鈴木伸彦、中村芳隆、山本はるみ、玉野宏

那須塩原市税条例の一部を改正し、十分な滞納整理期間を設けることで収納率の向上を図ります

問十分な滞納整理期間を設けることで収納率が向上し、納税の公平性を確保できるとのことだが、その根拠を伺う。

答具体的な効果として、県内25市町のうち、年内に全ての納期を設定している17市町と本市と同様に第4期を2月に設定している6市町について令和2年度の収納率で比較すると、17市町の平均収納率は98.18%、対して、6市町の平均収納率が97.35%、その差が0.83ポイントとなっている。納期を前倒しすることが収納率の向上に作用していると考え。なお、本市において0.83ポイントの収納率の向上を図ることができた場合、約8,000万円の増収が見込める。

那須塩原市職員の定数上限を現行の828人から888人にします

近年の新型コロナウイルス感染症や行政ニーズの複雑多様化などにより、新たな対応が必要となってきたことや、令和5年度からの段階的定年延長における影響を踏まえ、業務量に応じた適正な人員の確保、配置を見据えて、柔軟な対応を可能とするため、那須塩原市職員定数条例を改正するもの。

問この条例改正により年齢別構成のバランスは保たれるのか。

答年齢のバランスは採用の過程の中で極力平準化を図りたい。



那須塩原クリーンセンター

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など
 【委員】◎田村正宏○益子丈弘、堤正明、室井孝幸、齊藤誠之、平山武、松田寛人、眞壁俊郎

那須塩原クリーンセンターの長寿命化を図るため、選定委員会を設置します

那須塩原クリーンセンターに関して、令和5年度から期間とする長期包括運營業務、令和5年度から令和7年度に実施予定の基幹的設備改修工事またはその両方を行う事業者の選定において、公平かつ公正な審査及び評価を行うため、「那須塩原クリーンセンター長期包括運營業務等選定委員会」を設置するために制定するもの。

問この委員会が開催される回数を伺う。

答委員会は、本年度中に1回、来年度中に2回開催を予定している。

問この会議ではどのような内容が話されるのかを伺う。

答本年度中の1回は、令和4年度に、業者選定を行うに当たり、どういった基準で選定すべきかの原案を委員に見ていただく。来年度中の2回は、さらにその内容を精査したもので募集をかけた状況及び実際の審査を行っていただくことを想定している。



那須塩原クリーンセンター

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど
 【委員】◎森本彰伸○星野健二、三本木直人、林美幸、小島耕一、佐藤一則、大野恭男、齋藤寿一、金子哲也

出産育児一時金の総支給額が維持されます

問出産育児一時金支給事業で支給額を40万4,000円から40万8,000円に引き上げる一方で、掛け金を1万6,000円から1万2,000円に引き下げるとのことだが、その理由を伺う。

答令和4年1月1日から産科医療補償制度が見直され、総支給額42万円を維持すべきとされたため、支給額を上げ、掛け金相当額を下げることで総支給額を維持するため。

重度心身障害者医療費助成制度の対象に精神障害者が追加されます

問重度心身障害者医療費助成の対象に精神障害者を追加するということだが、対象者の具体的な障害の程度について伺う。

答精神障害者保健福祉手帳1級所持者で日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度としており、これは、身の回りのことがほとんどできず、常時介助が必要な人である。

旧関谷郷土資料館が無償譲渡されます

問建物は市でつくったものだが、土地は借用しているということで、土地の所有者との話し合いはできているのか。

答土地の所有者からは、了承を得ている。



予算常任委員会

【委員】◎山形紀弘 ○森本彰伸 ○田村正宏、その他全議員

マイナンバーと健康診断の結果が連携します

問連携するシステムを整備することによって、どのようなサービスの向上に繋がるのか伺う。

答システム改修の補助金の交付の予算額は169万4,000円を計上しており、健康診断や予防接種の記録などを確認できるほか、自治体間でも情報の共有ができるようになる。

学校給食に地産地消の野菜が献立に加わります

問「すごいぞとちぎの農業」地産地消学校給食事業費補助金の内容について伺う。

答この補助金は、市内の児童生徒に対して、地産地消や農業の大切さ、魅力を伝え、理解を促進するとともに、学校給食における地産地消給食の推進が目的である。とちぎ地産地消県民運動実行委員会から給食食材購入費を補助の対象として、児童生徒1人当たり180円の助成で総額180万5,000円を計上している。この補助金によって、本市の春菊やジャガイモ、キュウリ、キャベツなどの野

菜を扱った給食が提供できる。

福祉相談支援システムが整備され、庁内連携強化が図られます

問この福祉相談支援システムの内容を伺う。

答福祉に関する相談内容や日時などを記録し、それを関係する各課で共有し、課題を見逃さないためのシステムである。重層的支援体制整備事業への移行準備事業補助金で244万2,000円を試算していたが国庫補助の対象でないために市の一般財源を充当することになった。



議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議案第83号	令和3年度那須塩原市一般会計補正予算（第8号）	可決
議案第84号	令和3年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第85号	令和3年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第86号	令和3年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第87号	那須塩原市行財政改革推進計画審議会条例の制定について	可決
議案第88号	那須塩原市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	可決
議案第89号	那須塩原クリーンセンター長期包括運営事業者等選定委員会条例の制定について	可決
議案第90号	那須塩原市部局設置条例の一部改正について	可決
議案第91号	那須塩原市職員定数条例の一部改正について	可決
議案第92号	那須塩原市税条例の一部改正について	可決
議案第93号	那須塩原市都市計画税条例の一部改正について	可決
議案第94号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第95号	那須塩原市文化会館等条例の一部改正について	可決
議案第96号	那須塩原市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
議案第97号	那須塩原市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議案第98号	那須塩原市企業立地促進条例の一部改正について	可決
議案第99号	財産の無償譲渡について	可決
議案第100号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第101号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第102号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第103号	市道路線の認定について	可決
議案第104号	令和3年度那須塩原市一般会計補正予算（第9号）	可決
議案第105号	那須塩原市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
発議第23号	那須塩原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
発議第24号	議員の派遣について	可決

議会運営委員会研修を実施しました



那須塩原市議会では令和3年中に議会運営委員会主催の議員研修を4回実施しました。

開催日	テーマ	講師
令和3年10月21日	デジタルトランスフォーメーション（DX [*] ）の概要と実装	市DXフェロー岡田陽介氏
令和3年11月11日	農政の勘どころ（栃木県の農業について）	渡邊副市長
令和3年11月19日	予算について	市財政課職員
令和3年12月15日	学習指導要領について	市学校教育課職員

※ DX…進化したIT技術を浸透させ、人々の生活をより良いものへ変革させる概念

議会運営委員会では、議員の資質向上を目的とし、議員研修を行っています。10月からは最近話題となっているデジタルトランスフォーメーションや改訂された学習指導要領について専門的な説明を受けました。この研修を今後の議案の審議に生かしてまいります。

1 「学習指導要領」とは？





志絆の会
眞壁 俊郎議員



気候変動対策(那須野が原グリーンプロジェクト)について

問 地域再生可能エネルギーの地域での活用について伺う。

答 市長 現在、地域の再生可能エネルギーを最大限に活用して、エネルギーと経済の地域内循環を実現するための地域新電力の設立や災害対応力を強化していきたい。停電時も電力供給が可能なゼロカーボン街区、環境省が言うところの脱炭素先行地域、この構築などを目指して取り組んでいきたい。

問 地域の新電力の設立を目指していくという話があったが、時期的なものが分かれば伺いたい。

答 気候変動対策局長 来年4月頃の会社設立を目指している。

土砂等の埋立てについて

問 国は全国の盛土を調査するように指示しているが、市における調査内容、調査結果について伺う。

答 建設部長 今回の調査は、国が示した基準において、各所管部署である県と市が実施したもので、調査内容は、土砂災害をもたらすおそれのある地域内にあるおおむね2000年以降で把握可能なものとしており、該当はなかった。ただし、令和元年度、県において、大規模盛土の災害を未然に防止、軽減するための宅地耐震化推進事業の対象として、市内4か所の大規模盛土造成地が抽出されている。今回の熱海市での土石流災害を受け、この4か所について、早急に市において地盤調査等を実施し、安全性を確認する予定。なお、調査費用については、国の補助金を活用していく。



那須疏水の様子



敬清会
大野 恭男議員



アフターコロナを見据えた市政運営について

問 令和4年度の当初予算編成の基本方針及び予算規模について伺う。

答 総務部長 持続可能な財政運営を確保し、国の掲げる日本の未来を拓く4つの原動力を踏まえて選定した重点取り組み分野に優先的に予算付けするとともに、感染症対策や必要な諸施策に取り組むことを基本方針とし、予算規模はおおむね500億円程度を見込んでいる。

問 市長公約の実現に向けた事業並びに特色を特化する事業はあるか。

答 市長 22項目で構成する政策マニフェストを掲げ81事業、具体的な公約事業を位置づけているがおおむね着手済みであり、着実な事業実現に取り組んでいく。コロナ禍で出てきた問題点をデジタルでいかに解決していくか、広い意味でも東京一極集中是正の流れ、地域でも分散型地域づくりができることによって、地域特有の施策が打てるようになるのではと思っている。また、那須野が原グリーンプロジェクト、例えば指定避難所に太陽光発電と蓄電池を設置して二酸化炭素排出削減と災害対応の強化をすることによって「那須塩原市に行けば生き延びられる」というまちづくりは更に進めていけるのではないかと考えている。

問 首都機能移転について機運醸成や受け皿となるための魅力の創出にどう取り組んでいくか。

答 市長 デジタル社会でDXもやっている。国が進める前に先に取り組むことによって受皿になりえることが大事だと思う。あくまでも分散型社会の必要性と行っている取り組みを訴えていく。



佐藤 一則議員



野生鳥獣との関わりについて

問 被害金額と捕獲頭数の推移について伺う。

答 産業観光部長 被害金額は、直近5年間平均で約7,000万円と推移しており、減少傾向だが高い水準にある。令和2年度の主な種類別捕獲頭数は、猿120頭、鹿544頭、イノシシ249頭で、それぞれ増加傾向にある。

問 被害金額減少の主な要因について伺う。

答 産業観光部長 捕獲頭数の増加、侵入防除柵の設置、鳥獣被害対策実施隊員のアドバイスによる環境改善等総合的なものと考えている。

問 捕獲頭数の決定方法について伺う。

答 産業観光部長 農作物の被害状況や近年の捕獲実績を参考に市の鳥獣被害防止計画で定める。

問 侵入防除柵設置等の補助制度について伺う。

答 産業観光部長 設置費用の3分の2を補助しており、上限は個人20万円、団体100万円、法人30万円。修繕や機能強化は、対象経費の2分の1を助成し、上限額は一律10万円である。

問 鳥獣被害対策実施隊とその支援について伺う。

答 産業観光部長 市職員8名と猟友会119名で構成され、市長が任命している。有害鳥獣の捕獲、効果的な防除柵設置の指導等を行っている。公務災害補償の適用、銃刀法の技能講習免除、狩猟税軽減、狩猟免許の取得費用補助等を支援している。

問 人と野生鳥獣の住み分けについて伺う。

答 市長 地球環境、動物環境、人間環境の一つでも狂うと皆駄目になってしまい、実際に自然との調和が乱れ人類にも大きな影響を及ぼしている。鳥獣被害対策実施隊の充実、DXの活用を研究して喫緊の課題として対処していきたい。



益子 丈弘議員



情報技術やSNSなど更なる利活用について

問 情報技術の利活用や情報発信、SNSの現状や今後、市政にどのように活かし、市民生活の向上につなげていくのか。

答 市長 本市ではさまざまな情報技術やSNSを利活用し、発信している。みるメールは目標として登録者を市民の25%、4人に1人が見ている環境とすることで、すぐ情報伝達ができ災害などの場合でも迅速・的確に命を守る情報が届けられる。LINEアンケートでは一方的に発信するだけでなく双方向でやり取りでき、アンケートを通して意見を集約し市政に反映できる。

問 SNSなどに定期的、継続的に使用することでの慣れの機会をどのように充実させるのか。

答 企画部長 まずは慣れる機会としてスマートフォンやタブレットなどをWi-Fi環境を整えた公民館で使い方講座などを行っている。

問 情報モラルなど共有すべき課題を児童生徒、保護者や学校を密接に連携する取り組みの展開が必要と思うがいかがか。

答 教育長 ICT教育は使い方他人を傷つけたら嫌な思いをさせてしまうこともあると皆で意識を持ち、そのような取り組みが市全体で進めていくことはとても大事なことでと思うし展開されることを期待する。

問 みまもりあいアプリを利活用する上で、実際に使用することで周知や習熟度、理解が進むと考えるが例え般的な絞った訓練はできないか。

答 保健福祉部長 事業を推進していく上で実践的なものは必要と思うので機会を捉え、訓練の検討をしていきたい。



安くて誰もが使える見守りシステム

※ICT…情報通信技術。通信技術を活用したコミュニケーション。



小島 耕一議員



医療的ケア児の保育所等における支援について

問 本市の保育所等の医療的ケア児の支援状況は。

答 子ども未来部長 医療的ケアを行う看護師を配置しているのは、認定こども園1か所で2人の医療的ケア児が在籍している。

問 認定こども園の体制整備の経費負担は。

答 子ども未来部長 施設を運営している法人が全て負担している。

問 国の医療的ケア児保育支援事業の内容は。

答 子ども未来部長 医療的ケア児の体制整備、看護師や助手の人件費等の補助で、受け入れする保育園を増やすことが目的である。

米価下落の中での土地利用型農業経営の安定について

問 本市の土地利用型農業の課題は。

答 市長 ドローンやAIを使ったスマート農業に取り組む必要があり、水稻の高温障害など気候変動にも対応して新たな品種の選定など那須塩原らしい土地利用型農業を考えていきたい。

問 今後の取り組みとして、園芸作物へ転換しやすい補助制度を検討するとしているが具体的には。

答 産業観光部長 園芸作物に限定することなく、持続可能な本市農業を推進するため、収益性の高い園芸作物の新規導入、農作物の品質向上、革新的技術の導入を検討している。

問 農業共済組合では収入保険制度を開始したことから、保険加入を推進しては。

答 産業観光部長 市として支援金の交付は考えていないが、制度周知に努めていく。



山本 はるひ議員



魅力ある酪農と環境問題について

問 牛の悪臭対策、水質対策について課題を伺う。

問 臭いの対策の具体的なことを教えてほしい。

答 産業観光部長 畜産農家と一般住宅との混在化が進んでいるので、周囲に配慮した臭気対策への取り組みが必要である。臭いの苦情があった場合は農家への指導をお願いをしている。それを続けていくしかないと思う。

問 家畜排せつ物をエネルギーとして利用することについての考えを伺う。

答 産業観光部長 バイオマスエネルギーとして有効活用することができれば課題の解決にもつながるので、実現可能性の調査を行っている。

答 気候変動対策局長 発電は可能だが、メタンガスを取ると消化液という処理に困るものが出てくる。発電事業以外の課題がたくさんあるので今のところ手を付けていない。地域の課題を解決し、事業性を確保する、資源、エネルギーを地域内に循環することが目的なので、目的が達成できればやりたいと思っている。

答 市長 発電については地域特有の小水力、牛ふんを使ったバイオガスをやっていきたいと思う。

コロナ禍における学校教育について

問 多様な子どもたちを誰一人取り残さないために、学校現場でこれから必要なことは何か。

答 教育長 学校だけではなく、家庭や地域、各関係機関と連携・協働しながら、チームとして子どもたちを育てていくことが大切であると思う。



星 宏子議員



子育てに関するアプリの導入を

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請の影響により、子育て支援制度の利用機会が減少するなど自治体と子育て世帯を取り巻く環境が大きく変化している。その変化に対応するツールとして母子手帳アプリの導入の考えがあるか伺う。

答 保健福祉部長 母子手帳アプリは、母親自身が自分に合った使い勝手のよいアプリを選択して利用している状況である。市の実施している事業とアプリの機能との親和性など、アプリの導入に向けた調査研究をしていく。

高齢者にeスポーツの普及を

問 eスポーツは、エレクトロニック・スポーツ[※]の略で、対戦型ゲームを競技とみなしてプレイヤー同士が腕前を競う。指先や脳を使うため、認知機能の向上が期待できるほか、座ったまま体験できるので、体への負担は少なく、高齢者でも楽しめるため、社会参加を促すツールとして注目されている。本市においても生涯学習出前講座や生きがいサロンなどを通してeスポーツ講習会を開催し、普及促進を図る考えはあるか伺う。

答 市長 eスポーツは高齢者も気軽に親しめるコミュニケーションツールの一つとして認識し、非常に注視している。今後の動向を参考にしていきたい。高齢者の取り組みとデジタルは、先月から、独居のひとり暮らしの高齢者の同意を得て電力センサーをブレーカーに取付け、身体機能の低下、フレイルの兆候の早期検知という実証実験も進めており、デジタル技術の活用を進めている。



※エレクトロニック・スポーツ…

コンピュータゲームなどを使った対戦を、スポーツ競技としてとらえる際の名称



中里 康寛議員



大規模災害等から住民を守る建設発生土の処理について

問 本市が発注した工事に関連する建設発生土は、年間何m³あるのか。そのうち、有効利用されている建設発生土は何m³あるのか。

答 総務部長 過去5年間の平均で本市発注工事での建設発生土は、年間約3万6,000m³で、そのうち有効利用しているものは、約3,400m³である。

問 受注者に残土処分が委ねられているが、その考え方は。

答 総務部長 建設発生土処分は、市があらかじめ処理地を確保し、処分することが原則である。しかし、その処理地を見つけることは困難であることから、受注者において処理地を確保し処分している。今後も引き続き県及び関係市町と連携を図りながら、処理地の確保に向けて検討を行いたい。

問 残土処分の問題に対する対応について現在どのように進捗しているのか。

答 総務部長 本市発注工事の建設発生土処分について、昨年度から栃木県陸砂利採取業協同組合と協議を行い、同組合が公開している受入れ地への処分を実施している。こちらは受注者において処理地が確保できない場合に処分を実施するものである。また、栃木県大田原土木事務所で既に取り組んでいる建設発生土受入れ候補地の公募制度について、本市でも検討を進めている状況である。

問 県外からの土砂等の持込みについて、今後本市の対応はどのように考えているか。

答 市民生活部長 県外からの土砂の搬入が増加傾向にあることを踏まえ、規制の在り方や条例改正に関して、検討を進めている。





山形 紀弘議員



本市の観光行政について

問 第3弾リフレッシュ！宿泊キャンペーンの現況について伺う。

答 産業観光部長 令和3年11月末で3,528人の利用となり、約1,712万円の執行で予算額6,000万円に対する執行率は約29%となっている。

問 法定外目的税の検討状況を伺う。

答 産業観光部長 観光団体の代表者や弁護士に相談して現状把握等を行っている。入湯税の引上げ期間の終了などを受け、改めて持続可能な観光の推進に資するための目的税を検討するために検討委員会を設置した。観光と行政の学識経験者などにも参加いただき、意見をいただいている。

問 塩原視力障害センター跡地活用について伺う。

答 企画部長 地域の特性や以前からお聞きしている地元の意向を踏まえ活用を検討する。

東京2020オリンピックパラリンピックについて

問 26回開催したオンライン交流で小中学校からどのような感想や意見があったのか伺う。

答 教育部長 この交流を通して多くの経験と学びの視野が広がった。共生社会ホストタウンで自ら何かをしてあげたいという心が生まれた。また交流をさらに続けていきたいとの声があった。

問 庁内部局と連携しオリ・パラの感動とレガシーとして全庁的に共有するためにも、これからの共生社会をどのように考えているのか伺う。

答 市長 今大会で共生社会を考えられるきっかけになった。来年度開催のいちご一会とちぎ大会で本市はボッチャ競技を実施するので今後の共生社会に対する考えを深めていく。



森本 彰伸議員



人口減少対策について

問 那須塩原市で子育てをする魅力について伺う。

答 子ども未来部長 首都圏へのアクセスが非常に便利な距離にありながら、自然も豊かで子育てに適した住環境を有するなど、バランスの良さを兼ね備えているとともに、大規模自然災害のリスクも少なく、安心して子育てができるところが魅力であると捉えている。

問 人口問題に特化した、部局の連携について伺う。

答 企画部長 那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みにつき、本市の人口減少問題に対応し、地方創生を成し遂げていくための計画となっている。その構成は、部局横断的な内容である。したがって、現在、当戦略に基づき部局間で連携を図りながら、雇用、結婚、子育て、教育、暮らし・環境、交流、広報を軸とした人口問題対策のための施策に取り組んでいる。

那須塩原市の体育教育について

問 令和5年度から始まる中学校の部活動が地域に移行されることへの対応について伺う。

答 教育長 文部科学省は、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革として、令和5年度から休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築することや、休日における地域のスポーツ、文化活動を実施できる環境を整備することを改革の方向性として示している。本市では、持続可能な部活動体制、教員の働き方改革、この2点を基盤にし、部活動指導員の活用等を計画的に進められるよう、学校の実態把握や庁内関係課との協議を進めているところである。



林 美幸議員



子どもの貧困対策について

問 支援が行き届かない、届きにくい子どもや家庭に対する対策について伺う。

答 子ども未来部長 自分自身でSOSを発することができない問題がある。周囲の大人たちが早期に子どもや家庭の困窮状態に気づき、支援につなげることが大切であり、現在全庁挙げて地域共生社会の構築を進めている。

問 子どもの居場所づくりや子ども食堂に取り組む団体への支援について伺う。

答 子ども未来部長 子ども・子育て夢基金を活用し、子どもの居場所づくりや子ども食堂に取り組む団体に対し助成金を交付し、支援している。

再犯の防止に向けた取り組みについて

問 再犯の防止等に関する施策を実施する責務は国だけでなく、市町村に対して、地方再犯防止推進計画を策定する努力義務を課しているが、再犯の防止等に向けた本市の考え方を伺う。

答 市民生活部長 犯罪や非行をした人たちが社会復帰をするためには、国や県、民間団体と連携し、さまざまな行政サービスやサポートを活用し就労、住居の確保、保健、医療、福祉等、生活環境を整えることが重要と考える。

問 庁内で再犯防止や更生保護に関する支援を横断的に話し合う場、調整する組織体制はあるのかを伺う。

答 市民生活部長 庁内に再犯防止の横断的な連絡、組織の体制はない。再犯防止の所管は市民生活部が行っている。



田村 正宏議員



官製ワーキングプアについて

問 会計年度任用職員と正規職員との間に不合理な処遇の差はないか伺う。

答 総務部長 制度導入にあたって期末手当や退職手当の新設、昇給制度の構築、各種休暇の創設などを行っており、不合理な差はないと考えている。

問 会計年度任用職員の勤務時間の把握など勤怠はどのように管理しているか伺う。

答 総務部長 一部の施設勤務者を除き、正規職員と同様の勤務管理システムにより管理している。

答 教育部長 公立小中学校に勤務する会計年度職員については市採用の場合は従来からの紙ベースによる出勤簿や休暇簿での管理、県採用の場合は勤怠管理システムにより管理している。

問 制度導入により福利厚生はどのように改善されたか伺う。

答 総務部長 夏季休暇、結婚休暇や産前・産後休暇制度の創設、年次有給休暇の付与日数を年間10日から20日への拡大、共済組合への加入などがある。

空き家対策について

問 本市の空き家バンク制度の現状と課題について伺う。

答 建設部長 制度の運用開始以降令和2年度までの5年間の成約件数は20件であり、現在の登録件数は4件にとどまっていることなどから、いかに物件の登録件数を増加させるかが課題である。

問 管理不全空き家の現状と課題について伺う。

答 建設部長 所有者の確認に時間を要することで、速やかな対応が難しいことなどが課題である。





金子 哲也議員



地域の伝統芸能や文化芸術について

問 地域に続いてきた獅子舞や念仏踊りなどの伝統芸能を、我々がいかに引き継いでいくのか、市はどう取り組んでいくか伺う。

答 教育部長 本市の獅子舞、城嶽舞、念仏踊りについては、今後も継続した保存団体への活動費の支援や発表の機会を提供しながら、貴重な伝統芸能が継承されていく環境づくりに努力していく。

問 三本木の獅子舞も国の文化財指定に推薦してもらいたい、十分その価値があると思われる。

答 教育部長 各団体の活動状況をもっと把握していきながら検討していきたい。

歴史文化の大切さを後世に伝えるために

問 三区町的那須開墾社第二農場跡地は西那須地区に残る最後の開拓の記念すべき歴史の地であるが、市民が集い楽しめる工夫ができないか、また、歴史の拠点としての観光スポットとして思い切った改造ができないか伺う。

答 西那須支所長 現在地域のお楽しみ会や、有志による魚が住めるような水辺環境の整備を行っている。今後もサテライト見学会を実施するなど多くの市民に知ってもらい、親しまれるよう工夫をしていきたい。

答 市長 文化財や伝統芸能を保存することは重要で、まさに那須野が原はレガシーである。また先人たちがどういう思いをしてこの地域を切り開いたかという思いは大事で、政策のヒントは歴史にあると、常日頃心に刻んでいる。



鈴木 秀信議員



G I G Aスクール構想*の取り組みについて

問 ICTを使った授業が思うようにできない自治体、学校が多い現状に対する市長の見解を伺う。

答 市長 タブレット端末を使った教育環境の必要性は認識しているが、予算面とのベストミックスをしっかりと考えていきたい。

問 ICT 支援員のサポートは十分にできているか。

答 教育長 現場の先生からはもっと多くサポートに来てほしいとの声は届いている。ただ教員や事務局が自ら課題解決を図るスキルも必要と思う。

問 オンライン授業を、何らかの理由で学校へ行けない子ども達を対象に進めることは可能か。

答 教育長 既に不登校のお子さんを対象に実施に踏み切ろうとしている学校もある。今後さらに進むのではないかと考えている。

問 地域協働本部の協力の下、オンラインで児童・生徒が地域の人との交流はできないか。

答 教育長 地域の皆様と共につながっていく幅広い活用ができるし、可能性を持っていると思う。

マイナンバーカード普及促進の取り組みについて

問 普及目標達成のための本市の施策はあるか。

答 市長 本庁舎へ専用ブースの設置や公民館での申請支援を実施している。今後はマイナンバーの活用による申請者記入の簡略化を検討しており、市民サービスにつなげていきたい。

問 情報弱者、申請困難者も取り残さない決意か。

答 市民生活部長 本人確認が必要であるため、施設に職員が出向いての本人確認など、できるだけスムーズに、できるだけ交付できる体制で臨む。

*G I G Aスクール構想…全国の児童・生徒1人に1台のコンピュータと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み



三本木 直人議員



本市農業の担い手育成の取り組みについて

問 那須塩原市の担い手育成の取り組みについて伺う。

答 市長 本市が全国で先進的な取り組みを目指す8か所のうちの1か所のモデル地区に選ばれた。市ではこの事業を活用して新規就農者の方々へ情報発信とサポートを構築しているところである。農林水産部門の求人、転職サイト、マイナビ農業に市の新規就農に関する情報を掲載して、本市の魅力を発信したところ、これまでに19人の申込みがあったと聞いている。さらに昨年度のワイン特区により、市内全域で小規模な施設でも醸造、醸成が可能となり、ブドウ栽培から自家製ワイン造りに取り組んだ農家もいる。ONSEN・ガストロノミーウォーキングでも地場産ワイン、チーズを提供し、好評いただいている。引き続きチャレンジファーマー事業と、新規就農サポート体制を中心として、さまざまな支援を行っていく。

農地の集積・集約化について

問 農地の集積・集約化の取り組みについて伺う。

答 産業観光部長 昨年度、地域農業者が課題を抽出し、5年、10年後における将来について話し合う、人・農地プランを市内全40地区において実施した。その中からモデル地区を設定し、課題に対する取り組みに着手している。今後遊休農地や耕作放棄地の増加が心配される農地の集積・集約化については、農業委員会、農業公社と連携し、農地の貸し手と受け手のマッチング支援等を実施しており、流動化を進めている。



星野 健二議員



医療的ケアが必要な子どもやその家族への支援について

問 障害者相談支援センターに配置されている、医療的ケア児等コーディネーター2名の今後の具体的な業務は。

答 保健福祉部長 医療的ケア児の健康を維持しつつ、さまざまな職種の者が包括的に関わり続けることができる生活支援システムの構築のためのキーパーソンとしての役割が求められている。そのため、より適切な医療的ケア児の相談支援業務、多職種連携のためのパートナーシップの構築、地域課題の検討のためにコーディネーターとして役割を担っていただけるものと考えている。

問 保育園が医療的ケア児を受け入れるよう今後はどのように進めて行くのか。

答 子ども未来部長 この事業が決定になったら、国庫補助の制度を各保育園等に周知し、意向調査を行っていききたい。

問 災害が起きた場合の医療的ケア児の避難所をどう考えていくのか。

答 総務部長 医療的ケア児を抱えているご家族は避難の際、大変にご苦労されることから少しでも軽減されるよう公民館に優先的に避難するような体制を取っていききたい。

問 今後の医療的ケア児に対しての支援体制の整備について。

答 市長 医療的ケア児は、医療技術の飛躍によって新しく行政に誕生した課題だと思っている。今後は、支援の協議の場として、自立支援協議会でさまざまな議論を進めていければならないと思っている。





堤 正明議員



市民参加による気候変動対策について

問市民が「ここに住んでいれば生き延びられる」と実感できるような気候変動の影響について市民との取り組みを推進することが求められている。気候変動対策の基本的な考え方は。

答市長 さまざまな気候変動対策を進めてきている。気候変動、脱炭素に関しては緩和と適応の2つのアプローチがある。緩和の部分は、地域新電力や脱炭素先行地域の構築がある。特に、地域新電力をつくることによってエネルギーと経済も循環でき、災害時には停電しても自前の再生可能エネルギーを使って電気が使えるようにする。適応の部分は、農業・観光といった気候変動の影響を受けやすい基幹産業がある。経済・資源そして我々の生命自体も持続可能と、那須塩原にいれば生き延びられるエリアを構築していきたい。

問市民が気候変動について議論し、政策を市や市議会へ提言する市民参加型の具体的な考えは。

答気候変動対策局長 市民の声を聞いて施策に反映することは重要だ。パブリックコメントを実施し、ワークショップを開き、積極的に市民が参加し施策に反映させる。

問市の施設、設備の省エネルギー対策は。

答総務部長 電気自動車を増やしていく。

答市民生活部長 ゆーバスも電気自動車の導入を検討する。



齊藤 誠之議員



教育環境の充実（ハード面・ソフト面）について

問教育施設長寿命化計画の老朽化施設に学校のプールがあるが、小中学校に関わる経費、建設費、年間のランニングコストについて伺う。

答教育部長 水泳の授業での稼働日数は、2か月程度の間の実質10日間であり、維持管理費については、本市26校で、水道料金、ろ過施設、ろ過装置の管理費など、修繕にかかる費用合わせて、平成29年度からの3年間平均で年間約2,200万円である。また建設費は、仮に既存のプールを新しく作り直した場合、1校当たり約2億円がかかる。

問この現状を考え今後の対応を伺う。

答教育部長 市内には2か所のプールがある民間スポーツクラブと、市営のプールがあるので、それらを活用した水泳の授業を来年度から一部試行的に実施したいと考えている。

問厳しい財源の中でも市採用教員の確保等の交渉はしっかりと進めていくべきと考えるが、教育委員会としての考えを伺う。

答教育長 那須塩原市の子どもたち、そして保護者の皆様方に対して、安全安心な環境、そして子どもたちがワクワクドキドキしながら充実した学校生活を送れるような環境を整えるためには、御指摘のように市採用教師の人数や質、これをきちんと確保するということが大変重要なことだと思っているので、私自身としても、引き続き粘り強く交渉をしていきたいと思っている。

市議会レポート②

総務企画常任委員会による所管事務調査を実施

令和3年11月10日、塩原地区の指定管理施設6か所を訪問し、施設の状況を確認するとともに、塩原支所職員及び指定管理者から施設の概要や現状について説明を受けました。

また、12月7日には那須地区消防組合黒磯消防署を訪問し、調査を行いました。消防署職員及び総務課職員により施設や設備についての説明を受けました。



指定管理施設訪問の様子



黒磯消防署訪問の様子

市議会レポート③

建設経済常任委員会による所管事務調査を実施

令和3年11月16日、道の駅「明治の森・黒磯」の再整備について調査研究するため、群馬県川場村の道の駅川場田園プラザと佐野市の道の駅どまんなかたぬまで道の駅の視察を行い、事業経過や整備効果についての説明を受けました。

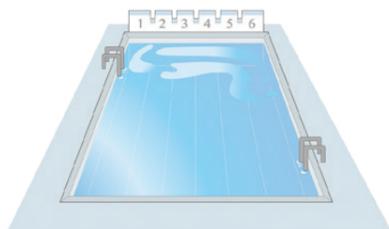
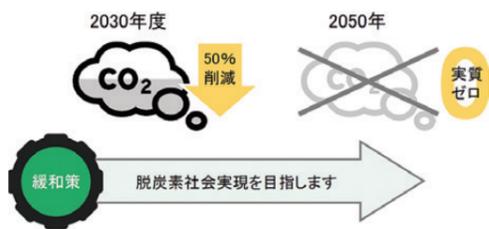
また、12月9日には本市の産業廃棄物の現状や太陽光発電をテーマに、那須地域環境対策連絡協議会との意見交換会を実施しました。本市に産業廃棄物処理場が多い要因や最近の動向、太陽光発電地域調和条例の概要に加えて協議会の活動や今までの取り組み、問題点などについて意見交換や情報共有を行いました。



視察の様子



意見交換会の様子



Future

～わたしの夢～ No.18

大山小学校 2年

たかぎ ゆうか
高木 優花さん

強いバドミントン選手になりたい

私の将来の夢は、バドミントン選手です。スマッシュが速く、シャトルを遠くに飛ばせる強い選手になりたいです。バドミントンを始めたきっかけは従妹と遊んで楽しいと感じたことです。それから、ちゃんと教わりたいと思い大田原 Jr. バドミントンクラブに入りました。クラブのみんなとたくさん練習して、ABC バドミントン大会の栃木県予選で優勝することができました。全国大会では一回戦で負けてしまいましたが、もっと強い選手になってまた全国大会に出れたら優勝を目指したいです。

私は、バドミントンの奥原希望選手に憧れています。動きが素早く、とても強いからです。また、バドミントンや健康のことを動画で発信してくれるのもすごいと思います。私も強い選手になって、バドミントンの楽しさや技術を伝えられるようになりたいです。



優花さんは毎日自主練習を行いながらも宿題をきちんとやり遂げる努力家です。また、けがをした友達の荷物を運んであげるなど気遣いができ、友達に慕われています。たくさんの応援を受け、夢の実現に向けて頑張る優花さんを推薦します。

(学級担任 長谷川純子先生談)

議会暦

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24	25 本会議再開	26
27 本会議 会派代表質問	28 本会議 一般質問	3/1 本会議 一般質問	2 本会議 一般質問	3 本会議 一般質問	4 本会議 一般質問	5
6 本会議 一般質問・議案質疑	7 常任委員会	8 常任委員会	9 常任委員会	10 常任委員会	11 常任委員会	12
13 常任委員会	14 常任委員会	15	16	17	18	19
20	21 予算常任委員会 議員全員協議会	22 本会議 散会	23	24	25	26

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。

本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況次第では、傍聴を御遠慮いただく場合があります。

令和4年度議会モニター募集

那須塩原市議会では、市民の意見を広く聴取し、議会運営及び議会活動に反映させるため、議会モニター制度を導入しています。

詳細な応募方法などは市議会ホームページをご覧ください。

- 応募資格…市内に在住、在勤、または在学する18歳以上の方
- 募集人数…20人
- 委嘱期間…令和4年5月1日～令和5年4月30日



議会モニター募集ページ



編集後記

ワクチン接種によって10月から12月まで収まっていた新型コロナウイルスがオミクロン変異株となり第6波が始まりました。オミクロン株は重症化する方は少ないのですが、感染力は強いので陽性者の数は急激に増加しております。ワクチンの3回目接種や治療薬も開発されていますが、国産治療薬の開発も期待したいところです。コロナ禍によって観光等の経済や社会、地域活動等の影響が大きいと感じています。議会においても終息への方向を議論してまいります。(小島 耕一)